

令和4年度 社会福祉法人 和習会 事業報告書

1 全体

本年度も感染者数が過去最多を記録し、依然流行が継続している新型コロナウイルス感染症について、市中では長期間に及ぶ自粛生活への疲れや蔓延への慣れ、更には感染力の高い変異種の出現等と合わせて蔓延に歯止めがかからない中、社会的な対策や意識は収束へと向かい変容を始めたと考えられた。

社会的変容の下においても介護事業所としては、重症化リスクの高い高齢者が利用することから社会全体とは必ずしも歩調が一致しない慎重な対策が求められた。

各事業所においては、職員自らの感染の他、同居家族等の濃厚接触者となるケースもあり、予防対策の一環として公的支援及び法人独自での定期・臨時のPCR・抗原検査について時機を見極めつつ実施し、陽性者の早期発見や感染疑い時の適切な出勤管理、早期隔離、安全な復帰等に努めて、可能な限り事業所内での蔓延を防いだ。

実際の現場での蔓延対策は初動が大切であることから、出勤職員で迅速に判断し即時の対応が可能となるようBCP（業務継続計画）や実用的なマニュアルを定着させ、併せて入所前PCR検査等による安全な入所に努めたことより感染症持ち込みのリスクを最低限に抑えたことは一定の成果があったと評価できた。

一方、利用者等の生活環境については、感染リスクに最大限に配慮し安全担保に努めており、感染症流行以前のような大規模な行事の実施等は困難であったが、小規模等での代替実施や部分的な家族面会の再開などにより、利用者の健康的な心身の保持に反映されることが期待された。また、職員にとってもこれらの企画・実行を担うことで閉鎖的な介護環境のイメージからの脱却を意識できることが望まれた。

そのほか感染症流行当初から自粛していた地域交流の活動に関して、行事への参画・企画、ボランティアや職業実習等の受け入れなどについても徐々に予防対策に配慮しながら再開しており、今後も法人全体として地域活動の復活に努めたい。

次年度においても感染症予防対策には十分留意しながら活動の規模や幅を広げていくための方策を模索していくことが必要であると思われた。

2 活動報告

令和4年7月5日	第1回 防災訓練実施
令和4年8月	地域密着型 通所介護運営推進会議
令和5年1月31日	第2回 防災訓練実施
令和5年2月	地域密着型 通所介護運営推進会議

認知症カフェの開催に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、中止となつた。